

会場の
一部を紹介

北海道博物館

大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちの未来」を継承する、石黒 浩／いのちの未来研究所によるアンドロイド（人間型ロボット）が登場します。

石黒 浩／いのちの未来研究所
《ヤマトロイド》
©FUTURE OF LIFE

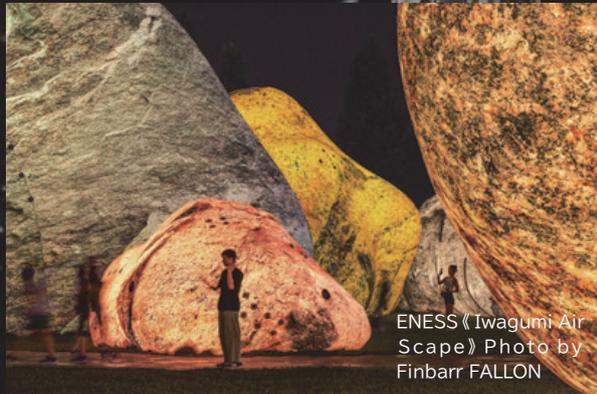


札幌国際芸術祭2027

3年に1度開催される札幌国際芸術祭（SIAF）が、来年1月に開幕。会場ごとの見どころやアーティストの情報を一部紹介します。 詳細 国際芸術祭担当課 ☎211-2314

来年の開催をお楽しみに！

会期	来年1/16(土)～2/21(日) ※一部の会場は会期が異なります	詳細 
ディレクターチーム	小川 秀明(クリエイティブディレクター) 細川 麻沙美(フェスティバルディレクター) 漆 崇博(スクールディレクター) 丸田 知明(スタジオディレクター)	
アドバイザー	山崎 直子(宇宙飛行士/青少年科学館名誉館長)	
テーマ	PLANET SNOW-upas mintar / upas nociw ※アイヌ語でウパシ ミンタラは「雪の庭」、ウパシ ノチウは「雪の星」を意味します	



ENESS (Iwagumi Air Scape) Photo by Finbarr FALLON

会場の広さを生かした展示空間とし、大型作品を設置。冬のまちに祝祭感をもたらします。

雪まつり大通会場



モエレ沼公園

人間と環境、未来を改めて考える会場。スイスの3人組メディアアートコレクティブ・fragmentinが、日本で初めて作品を展示します。

+

ふむふむプロジェクトでは 新たな仲間を募集中！



2月に雪まつり大通会場で行われた冬のイベントでの案内の様子

来場者がより深く芸術祭を楽しめるように、会場の案内などさまざまな形でサポートすることを目的としたプロジェクトです。現在、活動の担い手となる「ふむふむサポーター」を募集しています。詳細は右記コードからご確認ください。



+

北海道ゆかりのアーティストを紹介



川上りえ

石狩の厳しい自然の中で、地球の時間＝ディープタイムを見つめながら鉄と向き合う彫刻家。



シゲチヤンランド
(大西重成)

漂流物や拾得物を組み合わせ、不思議な生き物たちを呼び出す津別の造形作家。



若木くるみ

時に体ごと使用する驚異的な版画技術でこの世をユーモラスに描出するアーティスト。